

筑波大学 人文・文化学群

# 人文学類案内 2020

College of Humanities



Philosophy  
History  
Archaeology & Folklore  
Linguistics

筑波大学人文・文化学群人文学類案内 2020

編集・発行：筑波大学 人文・文化学群 人文学類  
 発行責任者：三宅 裕  
 所在地：〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1  
 Phone・Fax：029(853)4001  
 発行日：令和元年7月15日  
 ホームページ：<http://www.jinbun.tsukuba.ac.jp/>





# ようこそ人文学類へ

## ーサピエンスへの眼差しー

人文学類の名前の由来にもなっている人文学とは、私たち自身、すなわち人間とは何かを探求する学問です。ただ、人間と言うとあまりにも身近すぎて、どことなく漠とした感が漂うと個人的には思っています。改めて言うまでもなく、人間は生物学的にはホモ・サピエンスと呼ばれる存在です。20世紀が幕を下ろそうとしている頃、遺伝子解析などの技術が飛躍的に向上し、ホモ・サピエンスの歴史をある程度正確に辿ることができるようになりました。今から20万年ほど前にアフリカの大地で誕生し、約6万年前にアフリカを出て世界各地に広がっていったこと、そこで先輩格の人類と出会い、やがてそれに代わって地球上で唯一の人類となったことなどです。

そこで、人文学の人間をホモ・サピエンスと置き換えてみてはどうでしょうか。それは単なる言葉遊びではなく、かつて地球上に存在したほかの人類との比較、現生の類人猿との比較など、新しい視点がいくつも出てきます。それはまた、私たち自身をより客観的に見つめ直すことにも繋がります。私たちホモ・サピエンスは言葉を話し、超自然的な存在を信じ、モラルを重視して協力し合いながら社会を築いてきました。私たちはいつこうした能力を身につけ、その能力や行為にはどのような特徴があり、これまでどのような社会や文化を築きあげてきたのか。これこそが人文学が探求しようとしているテーマです。

人文学類には、哲学主専攻、史学主専攻、考古学・民俗学主専攻、言語学主専攻の4つの主専攻がありますが、いずれもホモ・サピエンスのもつ能力や歴史、文化を対象としていて、互いに深く関連し合っています。もちろん、それぞれの専門分野を深く極めることも重要ですが、サピエンス学を学んでいるという意識をもつことは、それ以上に大切なことではないかと思っています。ぜひ皆さんも人文学類で、ホモ・サピエンスという風変わりな生き物について一緒に考え、学んでみませんか。

人文学類長 三宅 裕  
(1983年人文学類卒業 先史学・考古学)



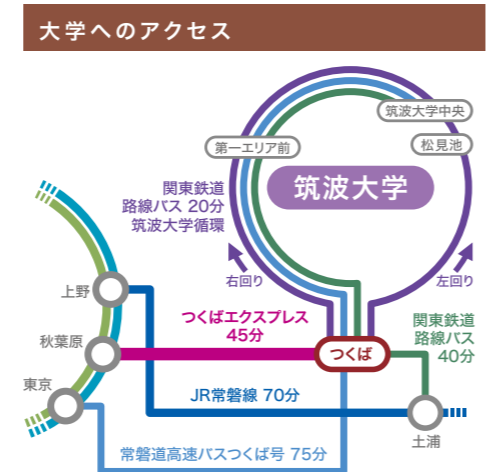
### CONTENTS

ようこそ人文学類へ	1	言語学主専攻	15
人文学類とは	2	一般言語学コース	16
留学制度	4	応用言語学コース	17
哲学主専攻	5	日本語学コース	18
哲学・倫理学コース	6	英語学コース	19
宗教学コース	7	卒業生の進路 就職と進学	20
史学主専攻	8	卒業生からのメッセージ	21
日本史学コース	9	変わる・人文学類! Q&A	22
ユーラシア史学コース	10	入試情報	23
歴史地理学コース	11		
考古学・民俗学主専攻	12		
先史学・考古学コース	13		
民俗学・文化人類学コース	14		

**筑波大学  
人文・文化学群人文学類**

■昭和49年開設  
 入学定員.....120名  
 現教員数.....53名

■平成31年度入学者  
 AC入試.....5名  
 推薦入試.....30名  
 私費外国人留学生入試...1名  
 前期試験.....74名  
 後期試験.....20名  
 入学者.....130名  
 (+国費外国人留学生1名)



# 人文学類とは？

## 筑波大学の組織

筑波大学には学生の所属する「学群・学類」という組織があります。サイズから言うと、学群は学部、学類は学科くらいに相当しますが、専攻の成り立ちから言うと、人文学類は人文科学の多くの分野をそそえていることから、学部と同等と考えてください。

「人文・文化学群」は、人文学類のほかに、比較文化学類、日本語・日本文化学類のあわせて3つの学類で構成され、この3学類のカリキュラムに共通の科目が設けられ、人文科学系統の科目を互いに履修しやすく工夫されています。詳しくは下記のウェブページをご覧ください。

<http://www.humcul.tsukuba.ac.jp/>



卒業後も研究を続けたい人のために大学院人文社会科学研究科があり、そこでは人文学類のほとんどの教員が指導にあたっていているため、教育研究内容の一貫性が高くなっています。修士課程の教育研究科に進学する卒業生もいます。

## 人文学類の主専攻とコース

人文学類には、哲学主専攻、史学主専攻、考古学・民俗学主専攻、言語学主専攻という4つの主専攻分野があります。それぞれの主専攻分野は、さらにいくつかのコースに分かれ、人文学類全体では11のコースがあります。

## 筑波大学の教育組織(学生の所属)

学群	学類	人文学類	
人文・文化学群	人文学類 比較文化学類 日本語・日本文化学類	哲学主専攻	哲学・倫理学コース 宗教学コース
社会・国際学群	社会学類など	史学主専攻	日本史学コース ユーラシア史学コース 歴史地理学コース
人間学群	教育学類など	考古学・民俗学主専攻	先史学・考古学コース 民俗学・文化人類学コース
生命環境学群	生物学類など	言語学主専攻	一般言語学コース 応用言語学コース 日本語学コース 英語学コース
理工学群	数学類など	大学院	
情報学群	情報科学類など	修士課程	教育研究科 など
医学群	医学類など	博士課程	人文社会科学研究科 など
体育専門学群			
芸術専門学群			

## 履修について

人文学類の授業科目は下表のように区分されます。目的意識をもってこれらの全科目群を計画的に履修すると、将来への展望が開けてきます。たとえば、スペシャリストを目指す人は、専門科目を重点的に履修することができます(専門重点化)。ジェネラリストを目指す人は、関連科目として人文系だけでなく社会系、芸術系、理科系の科目を広く履修したり、専門外の特定分野を集中的に学んで教養を深めたりすることも可能です(教養重点化)。教員を目指す人は、関連科目として教育学類の科目を意識的に履修すると付加

価値が高まります(教職重点化)。国際派を目指す人は、共通科目として特定の外国語を鍛える科目を重点的に履修することができます(語学重点化)。

なお、所定の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。人文学類で取得できる教員免許状の種類と教科は、中学校一種と高等学校一種の国語・社会(高校は地理歴史、公民)・英語の普通免許状です。

## 人文学類の授業構成(令和元年度)

授業科目の区分	内 容	標準的な履修計画				単位数
		1年	2年	3年	4年	
専門基礎科目	専門教育に必要な基本的な知識の修得	○○ ○○	○○ ○○			11単位
専門科目	主専攻コースの専門的な内容の修得	○○○ ○○○	○○○ ○○○ ○○○	○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○	卒業論文 ○○○ ○○○	54~ 88単位
基礎科目 (共通科目)	総合科目	○ ○ ○				1単位 1単位 1単位
	体 育		○			2単位
	第一外国語	○○○ ○				4単位
	第二外国語	○○○	○			4単位
	情 報	○○○ ○				4単位
	国 語	○○				2単位
基礎科目 (関連科目)	芸 術	○	○	○	○	自由
	選 択 科 目	○○○ ○○○				6~ 34単位
卒業単位124単位						
教職科目	教員資格を得るために必要となる科目	○○○ ○○○ ○○○	○○○ ○○○ ○○○	○○○ ○○○ ○○○	教育実習	10単位を 限度として 選択科目に 認定

※丸印は1単位を表し、各学年で履修する単位数のイメージを示しています。

筑波大学は69か国・地域の大学・機関と385の交流協定を結んでいます(2019年6月7日現在)。最近では以下をはじめとする大学に人文学類生が留学をしています。

- サントペテルブルク大学(ロシア)
- 北京大学(中国)
- 高麗大学(韓国)
- キエフ国立大学(ウクライナ)
- カレル大学(チェコ)
- フランシュ=コンテ大学(フランス)
- 世界経済外交大学(ウズベキスタン)

協定に基づく交換留学の場合、授業料相互免除および単位互換制度があります。奨学金や単位互換制度など、留学に関する詳しい情報については、下記のウェブページをご覧ください。

<http://www.kokuren.tsukuba.ac.jp/GP/gplist.html>

また、選抜を経た人文学類生は地域研究イノベーション学位プログラム(ASIP)生となることができます。これは、学類と大学院修士課程を通常より早い5年で卒業し(留学1年を含む)、グローバルに活躍する地域プロフェッショナルを育成するものです。留学のための費用が支援される予定です。詳しい情報については、下記のウェブページをご覧ください。

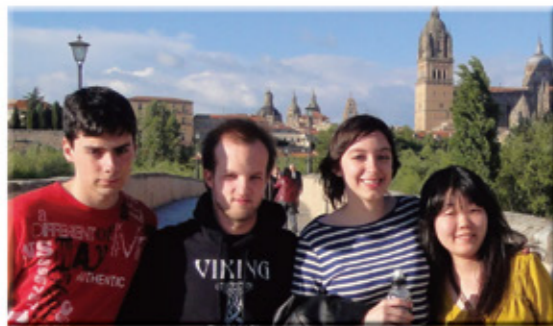
<http://asip.hass.tsukuba.ac.jp/>

## 私の留学生生活 サラマンカ大学:スペイン 卒業生 中川 紗智

大学では、スペイン語・スペイン文化を学ぶプログラムと、ラテンアメリカ地理やポルトガル史に関する科目を受講しました。授業は当然のことながら全てスペイン語で行われるため、ついていくのが大変でしたが、日本で学ぶのとはまた違ったアプローチの仕方が新鮮で、とても興味深く面白く感じました。授業以外でも、日本語を勉強しているスペイン人学生たちと言語交換(互いの母語を教えあうこと)を行い、一緒に食事をしたり遊んだりしながら語学力を上げることができました。

また、長期休暇中には、ヨーロッパ各国-ポルトガル、ドイツ、スウェーデン、フィンランド、バルト諸国などを一人で旅行し、様々な経験をしました。

それまで一度も海外に行ったことがなく語学もさほど得意ではなかった私ですが、留学生生活をおくる中で今まで知らなかった沢山の異なった文化や価値観に触れ、それらに体当たりでぶつかることで、自分のなかに大きく新しい世界が拓けたように思います。



## 私の留学生生活 フランシュ=コンテ大学 卒業生 寺下 彩乃

大学附属の語学学校 CLA(Centre de Linguistique Appliquée)でフランス語の力をつけた後、大学の学部で授業を受けました。CLAには様々な国籍の留学生がおり、フランス人の友人に加えてたくさんの国籍の友人ができました。学校がない日でも一緒に料理を作ったり街に出かけたりして、交流を深めました。また、大学の国際交流団体のイベントにも積極的に参加しました。

授業中だけでなく日常生活のすべてにおいてフランス語を使わなければならないことに最初は不安を感じていましたが、活きたフランス語に触れながら自分もフランス語を使うことで、語学力向上をめきめきと実感できるため、勉強して楽しかったです。自力で生活するため、また、友達との会話を心から楽しむため(語学力があるほうが、お互いの考えていることをより正確に伝えあえる)に必要な語彙や表現が、必要なものほど早く覚えられました。

今まで海外に行ったことがなかったため、何もかもが新しいことばかりでした。街を歩いていると、友人と話している、何かしらの発見がありました。その結果として、日本にいたら考えないようなことを考えたり、今まで持っていなかった新しい視点を得たりすることができ、すごく嬉しかったです。さらに、それらが戻らずも自分に返ってきて、自分自身のことでも以前より分かるようになったような気さえるのは驚きでした。



## 私の留学生生活 サントペテルブルグ大学 卒業生 福島 英恵

授業は週5日で計20時間であり、習熟度別に学べます。言語を学ぶためのコースなので、学生は皆外国人で国際色豊かです。授業だけでは生きたロシア語のコミュニケーションが十分できませんが、それは寮生活でカバーできます。寮は2~3人部屋で、言葉を学ぶには非常に良い環境です。私は幸い2人のロシア人学生のルームメイトに恵まれ、ロシア語で交わされる自然体の会話を毎日聞き、彼女たちと話をしているうちに飛躍的に聴く力と話す力が身に付きました。

サントペテルブルグ市は町全体が世界文化遺産で数々のロシア文学の舞台にもなっている風情のある町です。人々はとても洗練された町であることに誇りを持っており、首都モスクワへのあからさまな対抗意識を見せるときの彼らは微笑ましいほどです。

現在、私はロシア留学で磨いた語学力を活かして、モスクワに駐在事務所を持つ東京の専門商社で元気に働いています。どうか後輩の皆さんも充実した人文学類の交換留学制度を使って積極的に海外で学んでください。



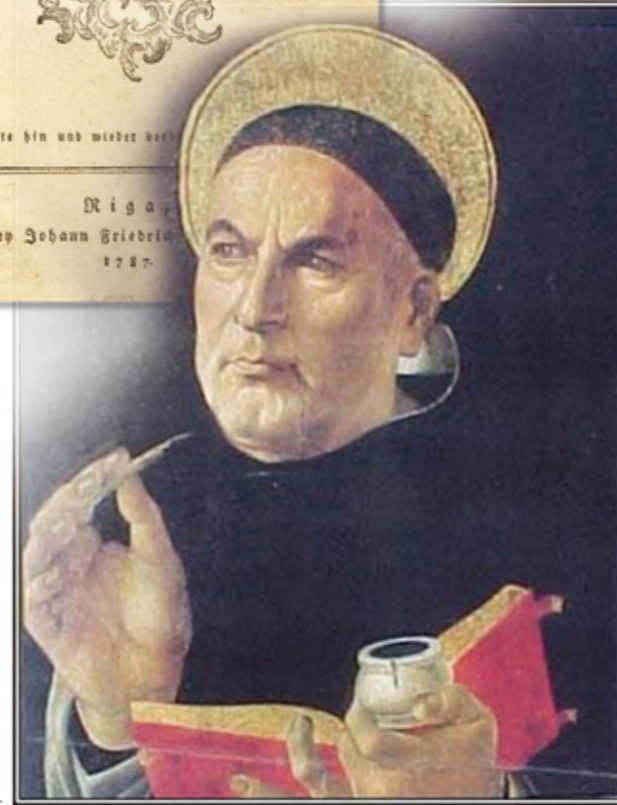
ネヴァ川沿いの堤防で寛ぐ水兵たち

# 哲学 主専攻 Philosophy

■ 哲学・倫理学コース ■ 宗教学コース



『純粋理性批判』第二版扉



トマス・アクィナス

## 哲学主専攻について

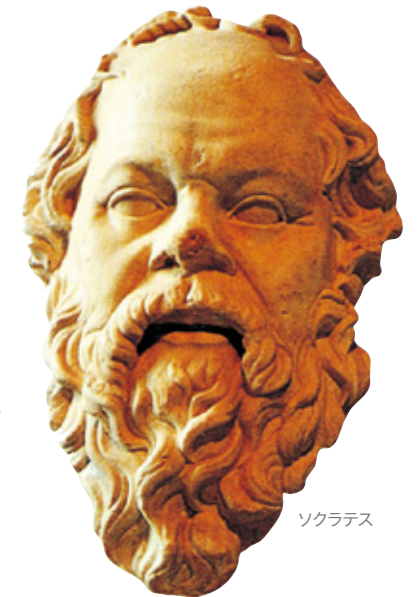
人文学類の「哲学主専攻」は、「哲学・倫理学」、「宗教学」という二つのコースに分かれ、時代的には、古代から近現代まで、また内容的にも、西洋思想のみならず、東洋思想や日本思想までカバーした全国でも有数の充実した学びの環境を提供します。学びのスタイルも、文献を緻密に読み解くものから実地調査を重視するものまで様々ですが、どちらのコースに所属しても他コースの授業を学修することが容易であり、質、量ともに申し分のない学修経験を積むことが可能です。

## 宗教学コース 保呂 篤彦

「哲学」が他の学問(科学)とは異なる特別の学問であることは、その名称からも見て取れます。物理学(自然科学)や法律学(社会科学)はもちろん、歴史学や人類学、言語学のような人文学(人文科学)もまた、その名称に表れているように、何れもその対象が限定されており、それに応じて研究方法にも制約がありますが、「哲学」だけは研究対象に限定がなく、研究方法も多様なのです。

それでは、「哲学」は一体何を研究するのでしょうか。これ自体が一つの「哲学的」な問いであり、答え方も一通りではありませんが、一つの答えとして次のように言ってもよいでしょう。すなわち、「哲学」は他の学問(科学)が原理的に扱えない問いを問う。例えば、物理学は物のあり方を研究し、普遍的に妥当する答えを導きますが、なぜその知が普遍妥当的でありうるのかを、物理学自身は問うことすらできません。また、民族学や人類学は特定の民族・文化において、いかなる善悪の観念が通用しているかを研究できますが、本来的・普遍的な善は問えません。さらに、「私」とは何者で、何のために存在するのかを問う科学など、どこにも存在しません。そして、このような問いこそ、哲学、倫理学、そして宗教の問いに他ならないのです。

科学の目覚ましい発展にもかかわらず、科学知では解決できない諸課題に人類が直面している今こそ、哲学・倫理学・宗教学の真摯な探究が強く求められているのです。



ソクラテス

哲学 主専攻 Philosophy

# 哲学・倫理学コース

授業科目

- 哲学特講 ■ 哲学史 ■ 哲学演習 ■ 倫理学特講 ■ 倫理思想史 ■ 倫理学演習



デカルト カント

「生きる」ことは「知る」ことと共に

教授 [西洋近世哲学と対話論] 檜垣良成

人間にとって「生きる」ことは「知る」ことと共にありますが、人は、一定の「ものの見方(知り方)」を前提し、特定の「生き方」を選ばざるをえない生き物です。この世界(直)観ないし人生(直)観を反省し、真に自分のものにするところに哲学・倫理学の真骨頂があります。

哲学することの醍醐味は、単に知識を増やすことにあるのではなく、自分が生きるうえで既に前提している原理(常識)を反省し、みずからの責任で再構築することにあります。現代世界の混迷を理解する鍵は、この意味での哲学の不在、人文学の軽視にあると思います。進むべき方向を見定める知性なしに私たちの未来はありません。しかし、このことは一人でできることではなく、他者との〈対話〉、過去の哲学者との〈対話〉を適切に積み上げることによって可能になります。哲学・倫理学コースでは、教員とコースメンバーが互いに助け合いながら、この「哲学すること」、「倫理学すること」を学んでゆきます。



檜垣 良成 (西洋近世哲学と対話論)

身の回りを見ても世界を見ても、真理の探求としての哲学の重要性は増すばかりです。ともに探求しましょう。



伊藤 益 (日本思想を貫く「論理」の探究)

日本の思想、文化、歴史、文学に興味のある方は、是非私の授業を受講してください。多少は教養が身につくと思いますよ。

津崎 良典 (西洋近世哲学)

フランス哲学の学びを通じて人間と人間を超えるものへの感嘆を新たにしてほしい。



千葉 建 (西洋近現代倫理学)

倫理学を通じて、「善い人間とは何かを知る」だけではなく、「善い人間になる」手助けができれば嬉しいです。

哲学、倫理学はどんな授業？

哲学では、近世哲学を中心に、モンテーニュ、デカルト、マルブランシュ、ライプニッツ、デイドロ、カントなど、フランス、ドイツの哲学者が主に取り上げられます。また、ベルクソンなどの現代哲学にも触れられます。

倫理学では、古代から現代のさまざまな哲学者たちの道徳に関する思想が検討されます。また、そうした倫理思想を参照しながら、現代の社会的・技術的な諸問題についても批判的に考察されます。

先輩たちの卒業論文

- ・プラトンにおける正義と幸福
- ・伝統的懐疑論とデカルトの方法的懐疑
- ・カント倫理学における嘘の絶対的禁止の位置づけ
- ・ベルクソンにおける客観性の問題
- ・生命倫理における「自己」領域の臨界点
- ・共苦の思想—親鸞と利他行—
- ・不安の中の実存
- キルケゴール「不安の概念」研究—
- ・ヤスパースにおける〈限界状況〉と〈直観〉

コースの声



卒業生 新井 洸樹

哲学を勉強することから自分で哲学することへ転換するのが難しかったですね。12年間の学校生活で染みついた、知識の要領のよい吸収、提示された解法の定着、自分に期待されている「模範解答」を答えること。こうした姿勢に囚われていた間は、哲学について知識があっても、哲学者が真に言いたかったことの欠片も理解できていませんでした。

フィヒテ曰く、「汝自身に注視せよ、これが哲学の第一の要求である」。自分が馴染みすぎて気づかなくなっている考えや振る舞いを明らに出し、そして中でもそれなしには他のことが成立しなくなるような考えや振る舞いを吟味します。こうしたことが哲学に必要なことに気がつくのが遅れて、それまで自分がしていた哲学の勉強とは浮ついたものでした。

自己をよく見ることで自己の根幹の部分が分かると、現代の科学的知識からすると突飛もないような哲学の世界観がむしろその知識以上に射ているということが分かります。根幹の部分についての体系的な整理の仕方や論理的に追及された根拠には差があれども、つまり内容は異なっているけれども、各々の哲学者も同様に根幹を向き合っている問題にしていたのです。

哲学を学びたいという人の中には、自分のやりたいことが見つからなくて、あるいは自分らしさが分からなくて人生の指針を求める人もいるのでしょうか。それを求めるという意味で大学の哲学は期待外れです。しかし、哲学書から引用された(大衆向けの本の)洒落た言葉を指針にしてしまうことがなく、指針の内に生きていることを発見することができるという意味では期待以上でしょう。

哲学 主専攻 Philosophy

# 宗教学コース

授業科目

- 宗教学 ■ 宗教哲学 ■ 比較思想論 ■ 西洋宗教思想史 ■ 東洋宗教思想史 ■ 宗教学演習



上: 出羽三山での宗教学実習  
下: 「宗教学-bj」の講義の様子

現代社会から期待されている宗教学

宗教は科学技術の発展によって近い将来、消えてなくなると予想された時代がありましたが、この予想は裏切られました。中近東を中心にしたイスラーム復興、アメリカ合衆国におけるキリスト教ファンダメンタリズムの台頭、ロシアや東ヨーロッパの共産主義体制崩壊後のキリスト教再生などに見られるように、宗教は今なお世界の人々の心に生き続けています。一方、宗教は、国際紛争など世界が解決すべき重大な問題とも、また、いわゆるカルトなど私たちが困惑させる身近な問題とも深く関わっています。私たちの平穩な日常の支えになる宗教と様々な問題を引き起こす宗教はどのように繋がるのでしょうか。このように現代社会は多様な宗教現象を引き起こす宗教への適切な理解を強く求めています。そしてこの要求に応じることを最も期待されているのが他ならぬ「宗教学」です。宗教現象の多様性・多面性に於いて、宗教研究には多様なアプローチの仕方があります。本コースでは、方法論や研究対象がそれぞれ異なる三人の教員が、現代世界の宗教状況が突き付ける問題を自分なりに受けて立とうとする学生諸君を多面的にサポートします。



小野 基 (インド仏教の論理学と認識論)

サンスクリット語を学んで、人間の観智が詰まったインドの古代中世の哲学宗教文献の解読に挑戦してみませんか。



土井 裕人 (西洋古代の宗教思想)

思想を挙げるまでもなく、人間の関わる様々な領域を宗教抜きに理解しようすることはできません。そこに宗教や宗教学を学ぶ面白さがあります。



保呂 篤彦 (宗教哲学、カント研究)

西谷啓治曰く。宗教はそれを必要としない人にこそ必要である。宗教を必要としている人も、必要としない人も大歓迎です。

宗教学はどんな授業？

宗教学を学ぶ上では当たり前にあるように思える「宗教」や「宗教学」ですが、必ずしも自明にあるものとは言えません。春学期はreligionに対する訳語としての「宗教」と元のreligionについて、語の成立から考えていきます。秋学期は宗教学の主要な学説をたどります。

先輩たちの卒業論文

- ・ギリシア神話と日本神話の比較研究
- ・後期ウィットゲンシュタインにおける宗教観の考察
- ・西田幾多郎の還郷—(永遠の今)に於いて—
- ・親鸞における他宗教・他宗派観
- ・相対主義再考
- プロタゴラス、ヘルダー、ジャイナ教の比較を通して—
- ・現代日本における宗教的物語の構築
- ・マイノリティ概念に関する哲学的・宗教学的基礎付け

コースの声



卒業生 岸 はづき

皆さんは宗教にどのようなイメージをお持ちでしょうか？あまり興味がないという方も多数いると思います。

入学当初の私も宗教学には興味を持っておらず、露語学コースに進もうと考えていました。しかし、外国語を学ぶ過程で様々な国の文化に触れていくうち、その文化の根底にあるのは宗教ではないかと考えるようになりました。そこで私は、ロシア語をツールとして宗教を研究するという選択をしました。

宗教学に限らずどのコースでも、研究対象が国外であれば外書の文献を読むための語学力は必須です。人文学類にはたくさんの留学協定校があるため、私はその制度を利用してロシアとウクライナでの語学留学に挑戦しました。留学当初は現地独特の習慣やネイティブの話すスピードへの適応に苦労しましたが、「郷に入りては郷にしたがえ」。手さぐりでも現地の人々に溶け込もうとするうち、自然と語学力やコミュニケーション能力を伸ばすことができたと思います。この経験は就職活動にも活き、第一志望だったエネルギー企業から内定を頂くことができました。また、現地の宗教状況を自分の目で見るという経験によって、宗教がロシア文化の根底にあるということを実感するとともに、研究にオリジナリティを持たせることができました。

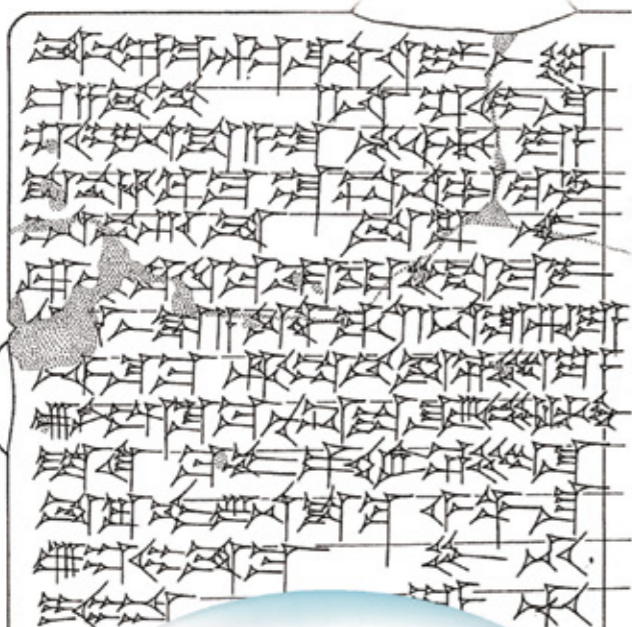
今は言語や海外の文化に興味を持っている方も、宗教という切り口で研究に挑戦してみたいかでしょうか。きっと新たな世界観に出会えると思います。

【写真】留学時

# 史学 主専攻 History

■日本史学コース ■ユーラシア史学コース ■歴史地理学コース

▼古代メソポタミアの楔形文字



▶九十九里浜の景観



▶中国・清朝の銅銭

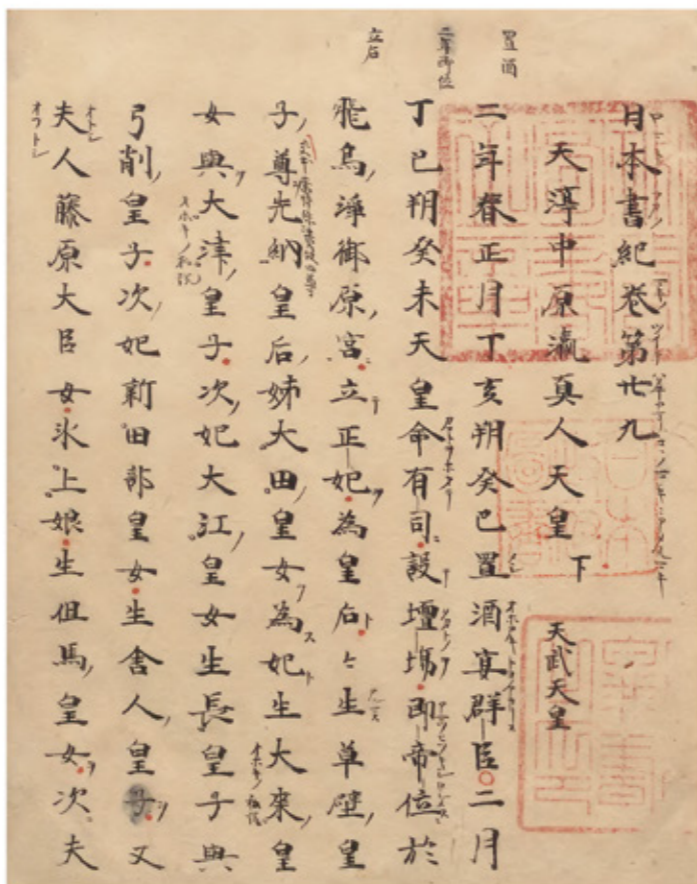
## 歴史学を学ぶということ

—私たちは、現在、どこにいるのか—

「歴史学」とはどのような学問かと問われ、大学の新生すべてに分かってもらおうとすると、答えは以下のようになるのか？

家の掃除をしていると押入れの片隅から段ボールの箱が現れた。中から古い日記帳が数冊、写真が雑然と放り込まれた紙袋、手紙、子供の時の成績表、いろいろな賞状、領収書、給料明細、健康診断書、車の免許証、映画やコンサートのチケットも…。ほとんどは、10年ほど前になくなった遠縁の叔父さんのものだ。これを材料(史料)に「叔父の歴史」を復元する。古いものから新しいものへと並べてみようか。音楽家だった叔父さんが、どのように音楽を学んだのか、関係のあるものを集めて整理しようか。北海道、東京、ウィーン、パリと渡り歩いた叔父さんが、それぞれの場所で、どんな所に住み、どんな格好でどんな物を食べ、なにを思っていたのかをのぞき見てみたい…。さまざまな「叔父の歴史」をまとめる構想が浮かんでくる。こうして、データを集め、整理して、過去を探求し、追体験する試みが開始される。そして、今の時代との違いも考えてみる。歴史学とは、おおよそ、こんなものか。この先は、大学で「自分で」学んでください。

(山田重郎)



# 史学 主専攻 History

## 日本史学コース

### 授業科目

■日本史概説 ■日本史史料学 ■日本史特講 ■日本史演習 ■日本史実習 ■日本史研究



日本史実習  
上:京都市城陽市正道官衙遺跡  
下:新潟県燕市長善館史料館

### 大学で学ぶ日本史学

教授 中野目 徹

大学入学までの日本史は、しばしば暗記科目といわれることがあります。そして、試験のときの正答は一つだけだと思います。

それに対して、大学で学ぶ日本史学では、クラスの全員に一律に覚えてもらような知識というものは一つありません。4年間の授業を通して、各自の問題関心に即した研究課題を立て、それぞれの課題にふさわしい史料調査の方法を身につけ、史料に批判と独自の解釈を加えて獲得した各自の見解を、集大成としての卒業論文にまとめてもらいたいと思います。本学ではグローバル人材の養成を目標に掲げていますが、日本史学に関しては日本において研究を極めることが世界で通用するグローバル人材を養成することにほかならないと考えています。

私は3年生になるときの専攻・コース決定届に、その理由を以下のように書きました。

ハーバート・ノーマンの次の言葉をもってそれに代える。「歴史は微妙で複雑な学問であるから、これを粗略に扱うときは必ず人を落とし穴に陥れるものである。それゆえ国民が自国の歴史を正しく理知的に認識していることはきわめて大切である」(『ハーバート・ノーマン全集』第4巻、1978年、岩波書店)。

筑波の地でともに日本史学を創造していこうとする学生がコースの扉を敲いてくれることを願っています。



中野目 徹 (日本近現代史。思想史・史料学)

問題意識の高い学生の入学を待っています。  
中野目徹編『近代日本の思想をさぐる』(2018年、吉川弘文館)参照。

### 三谷 芳幸 (日本古代の国家と天皇制の特質)

地道に学問しましょう。

### 日本史学を体系的に学ぶ

本コースでは、日本史学を体系的に学べるように授業が組み立てられています。まず「概説」で基本的な知識を身につけたあと、「史料学」で実践的な史料の読み方を習得します。それを踏まえつつ、専門的な研究方法に触れるのが「特講」、史料の読解に自ら取り組むのが「演習」です。こうした段階的学習のうに卒業論文の執筆があります。

### 先輩たちの卒業論文

- ・律令国家における官僧の位置
- ・古代東北支配と東国
- ・9世紀における交易管理と唐物
- ・加藤弘之の国家主義思想
- ・日露戦後における井上哲次郎の国民道徳論
- ・大正・昭和初期における地域の政治構造
- ・戦後における宮内省改革

### コースの声



4年 新木 絵里加

皆さんのなかには、「日本史」というと「暗記科目」のイメージが強い、という方が多いのではないのでしょうか。たしかに、受験科目としての日本史には覚える作業が多く、暗記科目と言われる一面もあると思います。しかし、大学での「日本史学」は、ただ人名や歴史的事象を覚える作業ではありません。

史学とは歴史を解釈する学問です。史料の読解をもとに、出来事がどのような時代背景のなかで起こり、どのような意味をもち、その後どのような影響を及ぼしたのかを考えます。高校までに得た知識は点であり、それを線でつなげるのが大学での史学だと思います。現在でも歴史の教科書は改訂され続けています。それは教科書に載っているものは歴史の一つの解釈でしかなく、今もなお歴史の解釈に絶対的なものはないことを示しているのではないのでしょうか。大学では、一つの解釈を与えられるだけ、覚えるだけの「日本史」から、自ら史料を読み解き、解釈を組み立てる「日本史学」への飛躍を体験することができます。

日本史学コースには、概説・特講・史料学・演習・実習という授業があります。1年生から受講できる概説では、日本史学の基礎を学びます。2年生から受講できる特講・史料学・演習・実習では、日本史を深く研究するために必要な能力を養います。演習は、与えられたテーマについて学生自身が調べて発表し、先生やほかの学生からの質問・指摘を受けて、みんなで討論する授業です。発表・討論の作業を通して、自分の意見をまとめ伝える能力が身につきます。史料学では、日本史の研究に不可欠な史料の読み方・扱い方を学びます。古文書などに出てくる文字や文章の読解方法を身につける授業です。最後に実習とは、大学の外に出て、実際に現地を訪れる体験学習のことで、2〜3日程度で史跡や史料の見学などをします。現地での体験は、知識をよりリアルなものにしてくれます。

史学では、史料を収集・解釈し、論理的に歴史を読み解くことが求められます。論理は緻密に組み立てなくてはならず、「こうも解釈できる」ではなく、「こうしか解釈できない」というレベルにまで研鑽しなくてはなりません。大変なように感じるかもしれませんが、一つ一つの史料に真摯に向き合い論じる能力は、将来どのような職業に就いても役に立つ力だと思います。高校までに知った歴史的事象を、「自らの手で解釈する楽しさ」が、大学での日本史学の魅力でしょう。

史学 主専攻 History

ユーラシア史学コース

- 古代西アジア史サブコース
- 中国史サブコース
- ヨーロッパ・アメリカ史サブコース

授業科目

- アッカド語初級
- 古代西アジア史演習
- 満洲語文語基礎
- 中国史演習
- ヨーロッパ史概説
- ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読



上: 古代バビロニアの「世界地図」  
下: 「満洲帝国」建国十周年記念切手

ユーラシア史学とは

「ユーラシア史学」という言葉に戸惑いを覚えた方も多いのではないのでしょうか。従来の歴史学は、日本史学・東洋史学・西洋史学の三領域に区分されてきました。これは皆さんにも馴染み深いものなのでしょう。しかし私たちはあえてそうした伝統的区分を採らず、ユーラシア史学という耳慣れない独自のコースを設計しました。

それはこの三区分別論が、三つの地域の閉鎖性をどこかで前提としているからです。いいかえればこの区分は、三地域が明確な境界線によって分断され、その閉ざされた空間の中でそれぞれ独自の文明を築いてきたという錯覚を生みかねません。しかし実際はそうではなく、人類ははるか昔から文明をまたぐ広域的な交渉を連綿と続けてきたのです。

そうしたダイナミックな歴史の側面を切り捨てないためにも、私たちはユーラシア大陸で勃興したさまざまな文明と、そこから地球規模で拡散した諸文明（新大陸や豪州も含む）をも包摂した枠組みを設定することにしました。それゆえユーラシア史学という言葉には単にユーラシア大陸の歴史だけでなく、それをはるかに凌駕するスケールの「人類史」という意味が込められているのです。



山田 重郎 (アッシリア学(楔形文字文書研究))

粘土板に書かれ50万点も発見されている楔形文字文書を史料に古代メソポタミアの都市文明を研究しています。



柴田 大輔 (古代メソポタミア宗教史)

古代メソポタミアにおける宗教文化について研究しています。主史料となる楔形文字文書の精密な読解を研究の基礎としていますが、一方で、宗教学や人類学、あるいは他の時代・地域に関する文化史・社会史研究の問題意識も参考にしています。



上田 裕之 (中国近世史)

中国近世の経済・財政について研究しています。既存の枠組みに縛られず、自分自身の眼差しで過去と現在の世界を読み解いていく—そんな挑戦に参加してくれる学生を待っています。



村上 宏昭 (ドイツ近現代史)

20世紀のドイツの歴史を研究しています。歴史を振り返ると、いま私たちが当たり前だと思っている多くの事柄が、実はつい最近まで存在しなかったことがよく分かります。歴史を研究する最大の魅力です。

コースの声



卒業生 半田 真士

海外の歴史を研究することの意味を考えてみましょう。ある地域の現在をより深く知るための過去の探求、現代の我々が直面している問題に対する比較によるケーススタディとしての過去の事例の分析、あるいは、直接的に日本との関係がある／あった諸地域の歴史を分析することによる「日本」なるものの問い直し—。海外の歴史を研究する上で、このような問いかけは皆さんが学んでいく上で常につきまとうものです。そして、これらは皆さんが歴史に向かっていくとともに深化していくものです。

この問いに向かうための訓練としてユーラシア史学コースでは、史料・文献を読解する知識・技能を身につける「文献学」や、先行研究の内容について議論する「演習」が開講されています。また、言語学主専攻や比較文化学類の授業が隣接諸分野として学べるようカリキュラムに組み込まれています。これらの課程を通じて、自らが養った問題関心を展開しながら膨大な史料と先行研究、隣接分野の知見を通じて誠実に歴史像を構築する、この実践こそが歴史研究の、そして本コースの醍醐味でしょう。皆さんの挑戦をお待ちしています。

ヨーロッパ史概説はどんな授業？

ヨーロッパ史概説では、社会史ないし文化史の観点からヨーロッパの歴史を中近世から現代まで解説します。それを通じて、大学で行われる歴史研究の基本的な考え方や方法論を習得してもらうことを目標としています。この授業においては、歴史を「暗記科目」と見なすイメージから脱却してもらい、私たちの日常を取り巻くさまざまな「当たり前」を疑う思考力を鍛えるよう心がけてほしいと思います。

先輩たちの卒業論文

- ・紀元前7世紀ネヴェエ市アッシリア王室図書館におけるバビロニア王碑文写本収集とその政治・文化的背景
- ・紀元前1千年紀メソポタミアの死霊調伏技法書における家族の霊
- ・明代嘉靖年間の「倭寇」論の変遷—王直への言及を中心に—
- ・清朝支配初期の新疆南路における回兵の動員—乾隆30年のウシュ反乱を対象として—
- ・ナチス期ドイツにおける遺伝病子孫予防法の成立と展開—遺伝健康裁判所に着目して—
- ・第一次世界大戦期アメリカにおける戦時広報—フォーミニットマン計画を中心に—

史学 主専攻 History

歴史地理学コース

授業科目

- 歴史地理学概説
- 歴史地理学研究法
- 歴史地誌学
- 歴史地理学演習
- 歴史地理学文献演習
- 歴史地理学実習

歴史地理学とは何か

教授【近代日本の歴史地理】中西 僚太郎

歴史地理学とは、あまり聞きなれない名称かもしれませんが。歴史学なのか地理学なのか、という疑問をもつ人もあるでしょう。

かつては、歴史学の補助分野として、歴史の舞台となった場所を考証することなどが、歴史地理学であると考えられていた時代もありました。しかし今日では、歴史地理学は学問の本質論や方法論からは、一般的に地理学の一分野として位置づけられており、地域や空間、景観、環境といった地理学で発達してきた基礎概念をふまえて、過去の間人集団が地表面をいかに組織し、生きてきたかを追究する分野として認識されています。簡単にいえば、地理学の観点から歴史を研究するのが歴史地理学であるといえます。本コースは、全国でも数少ない歴史地理学を専門的に学べるコースです。歴史学とは違った観点から歴史を研究してみたい、現在を研究する地理学とは関心が異なっていると感じる人には格好のコースといえるでしょう。

【メッセージ】

歴史学とは違った視点で歴史を研究してみたい人、デスクワークだけでなく、フィールドワークもしてみたい人に歴史地理学は向いています。



上: 歴史地理学実習—南房総市—  
下: 歴史地理学実習—館山市—

コースの声



3年 大庭 正汰

歴史地理学と聞いて、皆さんはどのような学問だと思いますか。私は歴史学の分野においては非常に実用的な学問であると考えています。文献の講読やフィールドワークを通して特定の土地や地域について調査し、その歴史について研究していく。これにより、過去だけでなく、未来がどうなっていくかも予想できる。まさに過去から学び未来へとつなげる学問であると考えます。

歴史地理学の研究テーマは様々あります。交通、商業、都市、観光など多くの研究テーマの中から自分の興味のあるテーマを扱うことができます。調査地域も自分の興味のある地域を自由に設定できるため、より深い研究をすることができると思います。

授業では歴史地理学に関する研究法や文献の読み方、各研究テーマに関する講義など、様々なことを学ぶことができます。そのなかでも歴史地理学の研究において重要なフィールドワークや聞き取り調査の方法などは、実習を通して学びます。実習で新たな発見をしてそれをまとめていくのは非常に面白いです。

歴史地理学に興味がある方はぜひ歴史地理学コースへお越しください。

歴史地理学実習はどんな授業？

歴史地理学の研究は、室内でのデスクワークと野外でのフィールドワークの両方から成り立っています。歴史地理学実習では、事前学習をふまえて調査地に赴き、野外での景観観察や聞き取り調査などの方法や、現地でしか入手できない文献資料(古文書など)の調査方法を学ぶとともに、調査結果を報告書としてまとめる能力を養います。

先輩たちの卒業論文

- ・浜松市奥山方広寺門前における境内地の変容
- ・近世忍城下図に見る忍城下町の空間構造
- ・明治期から昭和戦前期における修学旅行に関する歴史地理学的研究
- ・近代宇和島における花街の変容
- ・境大橋の架橋による茨城県猿島郡境町の変容
- ・高度経済成長期以降における津軽塗産業の衰退とその要因
- ・石岡市における新興住宅地の形成と祭礼との関わり
- ・1980年代以降における土浦市の駅前市街地の地域変容

# 考古学・民俗学主専攻 Archaeology & Folklore

■先史学・考古学コース ■民俗学・文化人類学コース

## 現場から考える

### 考古学 滝沢 誠

考古学・民俗学主専攻は、先史学・考古学コースと民俗学・文化人類学コースによって構成されています。先史学や考古学と聞くと、遺跡や遺物を手がかりとして人類の歴史を明らかにしていく人文科学(歴史学)の一分野、民俗学や文化人類学と聞くと、聞き取りや観察をつうじて身近な社会や異文化の姿を明らかにしていく社会科学の一分野、という印象をもつ人が多いでしょう。たしかにそれは、それぞれの分野の特徴をよくとらえていますが、じつは以上の分野はすべて「人類学=Anthropology」という総合的な学問分野に統合することができるのです。

人類学は、過去から現在そして地球上のあらゆる場所に生を受けた人類の様々な側面を、人文科学や社会科学のみならず自然科学をも動員して明らかにしようとするものです。その中で、とくに人類の文化的側面については、その多様性や行動様式、社会構造などを明らかにすることを目的として研究が進められています。つまり、先史学や考古学は長い時間の中で蓄積された物質資料によって、民俗学や文化人類学は現在や近い過去の直接対話が可能な対象によって、それらの目的を達成しようとするものなのです。

これらの分野には共通する重要な調査手法として「フィールドワーク」があります。先史学や考古学では遺跡の発掘調査をつうじて、民俗学や文化人類学では実際の生活現場や儀礼などに加わって様々な情報を収集していきます。それらに共通するのは、現場の生の資料から考えるということです。そうした一次資料に向き合うには多くの困難をともないますが、それによって得られる成果は何ものにも代えがたく、そこに研究の独創性や面白さが生まれてくるのです。

考古学・民俗学主専攻は、以上のような人類学としての視点をもって設置された、日本では数少ない特色ある専攻です。ぜひこの専攻で学び、人類への豊かな眼差しをもって未来を切り拓く礎としてください。



▲シリアの伝統的土器作り



▲トルコ・ハサンケイフ・ホック遺跡の調査



▲考古学実習(つくば市桜塚古墳)

# 考古学・民俗学主専攻 Archaeology & Folklore

## 先史学・考古学コース

### 授業科目

- 先史学概説 ■考古学概説 ■考古学方法論 ■物質資料調査法 ■先史学特講 ■考古学特講
- 先史学・考古学演習 ■先史学実習 ■考古学実習

### 先史学・考古学とは？

考古学=Archaeologyは、発掘などで得られる物質文化資料に基づいて人間社会の営みと歴史を知ろうとする学問です。それに対して先史学=Prehistoryは、生物学や環境科学なども動員して人間と自然環境との関わりにより重点を置いて人々の営みを復元しようとする傾向があります。先史学も考古学も、主に遺跡や遺物の研究を通じて人間社会にアプローチすることに変わりはありませんが、大まかに言って、文明社会を主な対象にするのが考古学、それ以前の社会を主な対象にするのが先史学という理解が現在では主流でしょうか。

先史学や考古学にとって、遺跡の踏査や発掘調査は研究資料を得るための最も重要な方法です。しかし遺跡は一度発掘してしまえば、発掘という研究機会を二度と再現することはできないという性格を持っています。本コースでは、厳密な作業と斬新な発想に基づいて、たった一度だけの発掘の機会を歴史の再構成に生かせるような研究を行える、そんな学生を育てたいと願っています。



三宅 裕 (西アジアの先史考古学)

知識が増えていくと、まだわかっていないことが増えてくるようになります。その過程こそが大学での学びです。



滝沢 誠 (古墳時代の政治と社会)

考古学は自らの手で歴史を解き明かす点に大きな魅力があります。皆さんと一緒に発掘に行きませんか？



谷口 陽子 (考古科学・保存科学)

ここには誠実にモノに対峙する時間と場があり、そしてそれを咀嚼し栄養にすることができます。広く深く思索しつつも楽しくかけがえのない時間を過ごしてください。

### コースの声



卒業生 荒井 啓汰

「考古学って発掘するやつでしょ？」と聞かれますが、その通りです。ただし掘り出すのは恐竜や三葉虫の化石ではなく、土器や石器といった人間が生きていた時代の痕跡です。文献を扱う歴史学とは異なり、考古学のいちばんの資料は土の中にあります。そのため考古学をやる人は発掘に行くわけです。警察の鑑識のように、現場に残された物的証拠から過去の人々がどう行動したのかを推理する…ちょっと地味ですがなんだかワクワク感のある学問です。例えば、遺跡に残された穴の掘りかたや石器の作り方から、それを残した人が右利きか左利きか推測することもできてしまいます。

筑波大学には西アジアや古墳時代、保存科学を専門とする先生方がいるので、もちろんそれらを詳しく勉強することができますが、それ以外にも幅広いフィールドの研究をすることができます。人類が誕生してから現代まで、過去の人間が残した「モノ」から研究すればなんだって考古学になりえます。発掘に興味がある、古代の謎とかに惹かれる、ピラミッドとかマチュピチュとか好き…という人は、ぜひ考古学や先史学の授業をうけたり、先輩に話を聞いてみてください。

先史学・考古学コースに興味のある人におすすめしたいのは、休みの日に遺跡や博物館に行くことです。古代の人たちが作った物や彼らが見た風景を味わうことができます。ぜひ楽しみながら古代の謎に迫ってみてください。



上:シリア調査の朝食  
中:平安時代の住居址を発掘する実習生たち(つくば市)  
下:カッパドキア(トルコ)での修復作業

### 考古学概説はどんな授業？

考古学という学問がいかに魅力的であるか、いかに無力であるか、そして人々が生きるために必要であるかについて、理解を深めます。

1. 考古学とは何か
2. ゴミの考古学
3. 型式学
4. 考古学と生態学
5. 考古学と民族誌

### 先輩たちの卒業論文

- ・中央アナトリアを産地とする黒曜石の流通圏の再検討
- 先土器新石器時代から新石器時代まで—
- ・横穴式石室と埋葬行為
- 東日本の事例を中心として—
- ・胎土分析からみた縄文土器の流通
- 西田遺跡出土土器を用いて—
- ・縄文中期大型石棒のライフヒストリー
- ・福岡県太宰府市所在江牟田遺跡の再検討
- 旧東京教育大学による調査資料に基づいて—
- ・関東地方における縄文土器製塩の再検討
- ・オホーツク文化の動物意匠遺物
- ・縄文時代における人とイノシシの関わりについて
- ・ペルー北部形成期における神殿更新とそこから見る社会変容について
- ・古代ローマにおける円形闘技場の社会的機能
- ・古墳時代榛名山麓における積石塚の検討



# 民俗学・文化人類学コース

## 授業科目

- 民俗学特講 ■ 比較民俗学演習 ■ 文化人類学講義 ■ 文化人類学演習, 民俗学・文化人類学調査法
- 民俗学・文化人類学実習



調査実習

## 民俗学・文化人類学の学び方

## コース教員一同

民俗学は儀礼・信仰・社会・経済などの伝承資料から日常の暮らしと文化を探究し、文化人類学は異文化の営みと我々自身の営みをシメトリックに研究する学問です。いずれもフィールドワークに基づいて、価値観を異にする人々の行動様式を生活文化の中で理解します。そのため専攻する学生は5日間の調査実習に2回参加し、その体験から自分自身で問題を発見し作業仮説を打ち立てて研究を進めることになります。

民俗学では対象の歴史的な深みを考察するため日本史学と連携した科目を組んでいます。文化人類学では古典的な理論から最新の科学技術論に至るまで幅広く批判的に学びます。こうして育まれた能力を用い、身近でありながら人間にとって根源的な経験を記述し理論的に考察する卒業研究に取り組みます。



**内山田 康** (人類学「南アジア研究、民主主義の人類学的研究」)

自分を理解の道具としてフィールドに入り、そこを離れて考察し、再びフィールドで枠組みを問い返し…



**中野 泰** (民俗学「日本・東アジアの村落・生業研究」)

異なる社会における生活経験の魅力を民俗学から考えてみましょう！



**武井 基晃** (民俗学「歴史を伝え、神々と交渉する人々」)

民俗学の魅力は、何気ない日常の中にある問いの答えを、人々との対話や体験の共有から見つけていくことです。

## コースの声

### 卒業生 小池 いくみ



民俗学とは、私たちの日常生活や文化を、様々な側面から研究し、再構築、再認識していく学問です。論考の検討といった屋内での研究方法だけではなく、実際に現地へ行き聞き書きをする、フィールドワークという研究方法も行うことがこの学問の特徴です。2年生から始まる民俗学実習では、個々人の興味に基づいて自由に調査テーマを設定し、先生や院生からの指導を受けつつ論文や現地の地図を用いて事前調査を行ったあと、実際に現地フィールドワークを行います。私はある港町の祭りがどのようにして現在まで継承されてきたのか、ある街の定期市がどのような組織によって運営されてきたのかなどを調査しました。フィールドワークは、自分の足で現地を歩き回り、積極的に人々とコミュニケーションをとって情報を得なければならず、困難も多い研究方法です。しかし、たくさんの人々の語りに触れ、人間の文化の豊かさを再確認することは、非常に面白く、刺激的で興味深い経験でもあります。

3年生になると、実習での経験をもとに卒業論文に取りかかります。私はこれまでの実習で取り組んできた物事の運営と継承というテーマに、卒業論文でも取り組むことに決めました。福島県喜多方市の神社に伝わる「御田植祭」を調査対象とし、祭を運営する地元住民たちが、管理体制をどのように変化させてきたのか、またどのような変更を祭に加えてきたのかという面に注目して、運営側の祭に対する意識を明らかにします。また、近年に起きた大きな変化の一つである、お田植踊りの担い手の変化に注目し、祭にとって不可欠な伝統を継承するという要素を、運営する人々はどう捉え、対応しているのかを明らかにするため調査を行っています。住民の方だけでなく、行政の調査委員会の方や福島県立博物館の学芸員の方、神事の撮影に来たアマチュアカメラマンの方など、現地でお会いしたたくさんの方にお話を伺い、協力していただきながら調査を進めているところです。

フィールドワークには多くの出会いがあります。私自身も、年に一度の行事で使う大風を特別に揚げさせてもらったり、当日知り合った方に現地の伝統料理をご馳走になったり、貴重なものから心が温かくなるようなものまで、様々な経験をすることができました。民俗学という学問に触れ、研究を深めていくことは、自分という一人の人間の成長にも大きく関わっていると思います。当たり前だと思っていた日常生活、文化にも、新たな発見は潜んでいます。興味を持った方は、ぜひ民俗学・文化人類学コースを選択し、フィールドへと飛び出してみませんか。

## 調査法と実習とは？

民俗学・文化人類学コースの学生(主に2、3年生)は年に1度、日本国内のどこかに連れて行かれます。そこでのフィールドワークの日々を通して生活文化を考察し、人々の思考と行動にふれ、自身の文化理論を試みます。そのために事前に「調査法」の授業で十分な準備を積み重ね、それから実際に「実習」調査に向かいます。

## 先輩たちの卒業論文

- ・偉人顕彰を担う小学校
- ・福来みかんの利用にみる地域資源活用
- ・棚田農家のこだわりと米の価値
- ・スポーツチームに所属する高齢者の生活
- ・メディア・アートの創発とポリティクスをめぐるエスノグラフィー
- ・台湾朝市場の人類学的研究
- ・自然観察の森と身近な自然のエスノグラフィー

- 一般言語学コース ■ 応用言語学コース ■ 日本語学コース ■ 英語学コース

## 語学と言語学

### 教授[セム語学] 池田 潤

専門を聞かれて「言語学です」と答えると、「何カ国語話せるんですか？」と聞かれることが多い。これに関して村上龍は「誤解されがちなことだが、言語学と語学はまったくの別物」(『13歳のハローワーク』幻冬舎)と述べているが、同感である。車にたとえるなら、語学の達人はかつてよく車をあやつるレーサーである。これに対し、言語学者は最速のレーシングカーを開発するために空気力学やエンジンの動力性能を研究するエンジニアに似ている。エンジニアとレーサーは異なる才能で、仮に車がうまく運転できなくても優秀なエンジニアになることは可能だ。

学びにたとえるなら、ことばを勉強するのが語学で、ことばを研究するのが言語学と言うこともできる。ことばを勉強する場合、文法はすでに分かっているという前提に立ち、学習者は文法書等にかかれた文法を覚えていく。このような文法を規範(prescriptive)文法と呼ぶ。それに対し、ことばを研究する場合、文法には分からないことがいろいろあるという前提に立ち、言語データに基づいて文法を自ら発見し、描き出していく。このような文法を記述(descriptive)文法と呼ぶ。

ことばに対する関わり方を規範的なものから記述的なものへと転換させたときに言語学が始まる。その先には、知っているつもり日本語や英語を再発見したり、初めて出会う言語を解きほぐしたり、個々の言語を越えて言語の本質を考究するなど、言語に関するさまざまな発見が待っている。そうした発見を社会や教育に役立てる途も広がっている。



▲オックスフォードのBodleian Library



▲多言語で書かれたサイン



▲ Bazançonの風景

▶ 楔形文字



▲『狂言記』(元禄12(1699)年刊)



# 日本語学コース

## 授業科目

- 日本語学概論
- 日本語音韻論
- 日本語文法論
- 日本語史
- 日本語学講読
- 日本語学演習



盗人：びょうびょう(犬の鳴き真似)。  
主人：鳴いたは鳴いたは(笑)。(狂言「盆山」より)



日本語学演習Ⅲの授業

## 日本語についてどれだけ知っていますか？ 教授[日本語研究の実践的活用に関する研究] 矢澤 真人

私たちは、当たり前のように、日本語を話したり、読んだりしています。でも、日本語について、実際にどのくらい知っているのでしょうか？ 外国の人に、「女っばい」と「女らしい」は意味がどう違うのかとか、「京都まで行く／京都に行く／京都へ行く」はどう使い分けるのかなどと聞かれても、なかなか説明することができないでしょう。古文を読んで、昔の日本語は、現在の日本語とずいぶん違うようだと感じていても、それがどのように今の日本語の姿になったのかについては、ほとんど知らないのではないでしょうか。

日本語学では、万葉集や源氏物語といった昔の文学作品の日本語から、今行われている日常の会話まで、すべての日本語が研究対象になります。どんな音で話されるか、どんなきまりに従って文は作られるのか、どう書かれているのか、語の意味はどう変化しているのかなど、さまざまな方面から考えていきます。なにより、言葉について、ちょっと気にかけてみる、どうしてなのだろうと自分自身で考えてみるといったところから、日本語学が始まります。



### 矢澤 真人 (日本語研究の実践的活用に関する研究)

「グローバル時代の母語教育」や「次世代型辞書開発」などのプロジェクトを通じて、新たな言語場の設計を進めています。



### 那須 昭夫 (音声学・音韻論)

日本語の音声・音韻、とくにアクセントなどの韻律現象について研究しています。



### 大倉 浩 (狂言資料による中近世の日本語史)

「古典文法を楽しく教えられる高校教師」を目指して大学に入りました。今はそういう教師を大学で育てています。



### 橋本 修 (現代日本語・古代日本語の文法(意味論))

脳内現象としても、社会現象としても極めて興味深い存在である日本語を、多方面からつき回しましょう。



### 和氣 愛仁 (現代日本語文法、人文情報学)

文系・理系という単純な二分法はすでに過去のものになりつつあります。両者を橋渡しするために何が必要か、一緒に考えてみましょう。

## 日本語学講読-Iaはどんな授業？

日本芸能史を映像とともにたどり、中世に成立した狂言という喜劇に注目して、セリフに使われる中世・近世の日本語を考察します。原本資料が扱えるように、変体仮名の読み方を身につけ、授業でも江戸時代の版本をコピーで読みます。貴重書が豊富な本学図書館資料の見学も行います。

## 先輩たちの卒業論文

- ・平板形容詞アクセントの「起伏化」再考
- ・津軽方言の外来語アクセント
- ・接尾辞「ばい」の意味・用法
- ・現代日本語における連体節マーカー「な」の研究
- ・ウェブ検索による外来語表記のゆれの研究
- ・平安時代における形容詞と係り結びとの関わり
- ・「逆に」の新たな用法についての検討
- ・児童生徒作文における機能語について

## コースの声



### 卒業生 鶴岡 里美

私が人文学類を選んだのは、そもそも「大学でいろんな言語に触れてみたい」というところからでした。それなのに、最終的にどうして日本語学コースを選んだのか？ それは、自分がよく知っているつもりだった日本語について、知らないことがたくさんあるということに気づいたからです。日本語学コースでは、母語として慣れ親しんできた日本語を数多の言語のひとつとして学び、

新たな視点から見つめなおして研究します。

ひとえに日本語学といっても、研究の対象、アプローチは多彩です。格助詞の持つ意味について調べる人もいれば、敬語の用いられ方に興味を持つ人もいます。現代日本語だけでなく、古典文学などにあられる日本語について文献調査する人もいます。私は日本語学やその他のコースで開講される授業を受ける中で日本語の「音」の法則に興味を持ちました。卒業論文では、日本語の音の並び方に関して私たちが持っている法則を探るため、アンケートを取ったり、コーパスとよばれる実際の言語データを蓄積したもの、私の場合は特に話し言葉のコーパスを利用したりして研究を行いました。

コースで開講される授業には日本語の文法・音韻・歴史に関する講義形式の授業だけでなく、それらの研究手法を実践する講読・演習などがあります。その中で、日本語学の学生どうして刺激を受け、先生方から細やかなアドバイスをいただくことができます。ぜひ大学の四年間で、いつも何気なく使っていることばの不思議に迫ってみませんか。

# 英語学コース

## 授業科目

- 英語学概論
- 英語文法論・統語論
- 英語意味論・語用論
- 英語音韻論・形態論
- 英語論文講読
- 英語学演習
- 英語学論文演習



英語学演習のひとつコマ



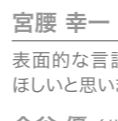
### 廣瀬 幸生 (認知意味論的観点からの日英語対照研究)

ことばの研究を通して、人のこころや文化・社会のありようについて考える面白さを味わってみたいと思います。



### 柳田 優子 (言語の文法変化に関する研究)

言語を単に語学を習得する目的だけでなく、人間に特有の存在という観点から研究する意義を考えてみませんか。



### 宮腰 幸一 (理論言語学)

表面的な言語現象の背後にある法則を科学的に解明する楽しさを学んでほしいと思います。

### 金谷 優 (英語学、構文文法、語用論)

ことばは「人の心をのぞく窓」とよく言われます。人間の認知の仕組みとことばの関係を考えていきましょう。

## 英語学概論はどんな授業？

英語学というのは、英語を対象とする言語学のことです。言語学とは、人間の用いることばの仕組みを明らかにする学問のことです。ことばには、音声があり、音声は意味を伝えます。そして、音声にも意味にも文法にも一定の規則性があります。だからこそ、人間はことばで意思疎通ができるのです。英語をもとに、ことばの規則性について考え、英語自体への理解も深めることを目的とする授業です。

## 先輩たちの卒業論文

- ・The Syntax of Small Clauses in English
- ・A Minimalist Approach to Clausal Systems and the Derivation of Wh-Questions in English
- ・On the Tense Interpretation of Relative Clauses in Japanese and English
- ・A Lexical Semantic Study of Negative Prefixes in English
- ・A Study of Semantic Changes of Words Concerning Men and Women
- ・Metaphors of Anger in English and Japanese
- ・A Study of the Discourse Marker Well in English

## コースの声



### 4年 岡田 祐輝

人文学類では3年次に専攻が分かれますが、1年次の時点では、私は独語学(現在の一般言語学)コースと英語学コースの間で迷っていました。そのため、どちらの専攻にもいくことが出来るように授業を受講していたのですが、ある英語学の授業の中で、昔の英語である古英語を取り扱ったとき、その言語が現在の独語に似ていてとても面白く感じました。また、両言語の間で共通して起こる現象もあれば、一方の言語にしか起こらない現象もあり、言語そのものに興味をわきました。大学受験の為に漠然と英語を勉強してきた私は、このような理由から、英語学を学ぶことで英語という言語の本質を解き明かし、言語そのものの仕組みをもっと知りたいと思い英語学コースを選択しました。

言語学とは、語学とは異なり、言語を観察することで人が物事をどのように捉え・思考しているのか、ということの研究する学問の一分野です。英語学コースでは、英語という言語を通して、英語母語話者の心理に迫ります。したがって、英語学を学んだからといって英語を実際に話したり、聞いたりすることが上手になることはないかもしれませんが、しかし、英語がただ使えるようになることよりもっと奥の深い、英語母語話者の直感に迫ることが出来ます。また、研究論文を精読し、それを要約・発表することで、論理的思考力を身につけるだけでなく、相手に分かりやすく伝える能力も身につけることが出来ます。これは社会に出ても絶対に必要になってくる技能だと思います。

英語学コースでは、文法や意味、形式、歴史といった様々な観点から、自分の興味のある現象を研究することが出来ます。また、各分野で活躍する優しい先生方が、熱心に指導してくれるので、とことん自分の興味を追求することが出来ますよ。

# 卒業生の進路 就職と進学



## 主な進路 (法人格等は一部省略、平成26-30年度)

### 製造業

旭化成 花王 昭和シェル石油  
住友林業 大王製紙  
ダイキン工業 日本製紙  
長谷工コーポレーション  
日立製作所 ファーストリテイリング  
ブリジストン 三井造船  
ヤマハ発動機

### 小売・食品業

イオンモール カスミ  
サッポロビール ノジマ ローソン

### 商社・流通業

近鉄エクスプレス  
JX日鉱日石エネルギー  
全日空商事 三越伊勢丹  
三菱商事

### 金融・保険業

イオン銀行 常陽銀行  
筑波銀行 日本政策金融公庫  
三井住友銀行 三菱東京UFJ銀行  
住友生命保険  
損保ジャパン日本興亜  
第一生命保険 日本生命保険  
みずほフィナンシャルグループ

### 通信・出版業

共同通信社 上毛新聞社  
テレビ朝日 朝日新聞社  
日本経済新聞社 毎日新聞社  
日本放送協会 NTTドコモ

### 運輸業

全日本空輸 JR北海道  
JR東日本 日本貨物鉄道  
日本通運

### サービス業

オリエンタルランド KADOKAWA  
パナソニックシステム  
浜銀総合研究所 マイナビ

三井不動産レジデンシャル  
吉本興業  
リクルートマネージメントソリューションズ

### その他

日本生活協同組合連合会  
日本郵政

### 教員

茨城県公立高等学校  
埼玉県公立高等学校  
滋賀県公立高等学校  
静岡県公立高等学校  
長野県公立高等学校  
三重県公立高等学校  
茨城県公立中学校  
岐阜県公立中学校  
長野県公立中学校  
土浦日本大学学園

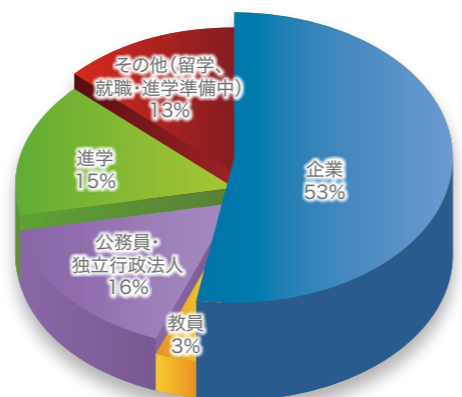
### 公務員

厚生労働省 国土交通省  
財務省 総務省 文部科学省  
愛知県庁 茨城県庁  
沖縄県庁 埼玉県庁  
千葉県庁 東京都庁  
北海道庁 山梨県庁  
東京都板橋区役所  
東京都江東区役所  
東京都渋谷区役所  
東京都台東区役所  
つくば市役所 水戸市役所  
筑波大学(職員) 東京大学(職員)

### 進学

京都大学大学院人間・環境学研究所  
筑波大学人文社会科学研究所  
筑波大学教育研究科  
筑波大学人間総合科学研究科  
筑波大学生命環境科学研究科  
東京大学大学院教育研究科  
東京大学大学院法政学政治学研究所  
一橋大学大学院社会学研究科  
ロンドン大学大学院(開発学)

## 平成30年度卒業生の進路



## 人文学類におけるキャリア支援

1年生は入学した春学期にフレッシュマン・セミナーが必修となっており、クラスごとに担任教員がついて大学生生活への導入を図ります。ここではキャリア形成への導入も重視しており、4回程度を合同フレッシュマン・セミナーと位置づけ学外から講師を招くなどして早期からキャリア形成への意識を高めています。

また、全学では「キャリアデザイン」の科目が学年別に開講され、多くの人文学類生が履修します。これらの科目では、受講者間でのディスカッションやプレゼンテーションが重視されます。

ほか、筑波大学では「つくばキャリアポートフォリオ(愛称CARIO)」というツールをキャリア形成支援の中核としています。これは50種類以上のシートにより大学生生活を記録し、就職や進学までスムーズにつなげようとするものです。

## 一般企業就職への支援

人文学類独自に学生のための就職支援企画を行っています。外部講師による就職セミナーを複数回、また内定を得た4年生による「人文学類生のための就活最新情報取得会」を開催しています。学類での説明会のほか、数百社が参加する全学での学内企業説明会も行われ、有名企業に就職した多数のOB・OGから学内で直接話を聞き、他大学の学生より有利な就職活動を行うことができます。

## 公務員・独立行政法人職員試験への支援

こちら、人文学類就職支援企画としてOB・OGによるセミナーや内定を得た4年生による報告会を開催しています。全学でもセミナーや格安で受講できる対策講座が準備されています。また、上記の学内企業説明会には一般企業だけでなく官公庁や独立行政法人からも参加があり、多様な話やアドバイスを聞くことができます。

## 中学校・高等学校教員採用試験への支援

本学ならびに人文学類が伝統的に強みを持つ進路です。OB・OGを招いたセミナーを学類で開催しているほか、全学でも教育界で活躍する本学関係者を招いた説明会などが行われます。

# 卒業生からのメッセージ



平成28年度卒 (民俗学・文化人類学)  
茨城県庁 尾崎 僚

私が人文学類において得たのは、偏った考えにとらわれず多様な視点から一つの物事を見ることの愉しさです。民俗学は高校までの学習ではあまり馴染みがない方も多いかと思いますが、聞き書き等の手法を通し生きるすべを見つめなおす、私たちにとても身近な学問だと思います。私は演習や実習等を通じて自然と人との関わりについて興味を持ち、卒業研究では出身地である茨城県のウミウ捕獲を事例として論文を書きました。調査のなかで、自分の生まれ育った土地を改めて見つめなおし、様々な気付きを得られたことが今の職業に就ききっかけとなったのだと思います。

学類の4年間は沢山の自由な時間があります。皆さんもぜひ、何か一つでも興味を持ったことがあったら、とにかく足を動かして沢山考えてみてください。そこで見たこと、聞いたこと、出会った人すべてが必ず皆さんにとって大きな財産になると思います。



平成27年度卒 (哲学)  
半導体製造装置メーカー技術開発職  
志村 知香

「この世界に存在する人間が自分一人だとしても立ち向かわなければならぬ問いが哲学で、この世界に自分以外の人間が存在するからこそ考えるべき問いが倫理学である」

哲学と倫理学について、人文学類の先生が仰っていた言葉です。人は誰かと関わりあうなかでしか生きていけないということ、就職してからより強く実感しています。学問というも、その分野一つだけで独立して存在しているわけではありません。例えば私が学んだ生命倫理学は、医学や法学、宗教学、心理学などあらゆる分野と密接に関係しています。関心とやる気さえあれば他学類の授業でも歓迎され、広く深く学べる環境は筑波大学の何よりの強みです。

私は大学の専門こそ倫理学でしたが、今は機械メーカーでメカニカルエンジニアとして働いています。技術者としてはまだまだ未熟ですが、広くアンテナを張ることの大切さと「やろうと思えば大抵のことはできる」ということを、筑波大学での4年間で教えてくれました。視野を広く持てるこの環境をフルに活用し、ぜひ学びを楽しんでください。



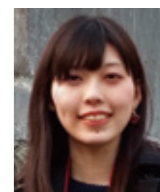
平成28年度卒 (英語学)  
山形テレビ アナウンサー 菅原 智郁

人文学類の特徴は、講義が豊富にあり、「幅広く」「深く」勉強することができる場所だと思います。

「幅広く」一人文学類には4つの主専攻があり、更に17のコースに分かれています。自分の専攻コース以外の講義も履修することができます。私は、言語学主専攻英語学コースに所属していましたが、関心があった史学の講義も履修していました。また、単に「英語学」と言っても、様々な側面からアプローチして研究することが可能であり、それをサポートするような講義が豊富にあったと感じています。

「深く」一初めででもわかりやすく興味を惹くような概論・概説の講義、論文を読んで発表する演習形式のものなどが、関心のある分野を追究することができます。4年間の集大成として卒業論文を書き上げたときの達成感、何物にも変えがたいです。

これからも大学で培った知識や教養、そして好奇心を忘れずに、アナウンサーの仕事に励みたいと考えています。



平成28年度卒 (西洋史)  
本学大学院  
人文社会科学研究所進学 大貫 歩美

歴史学は、物事の背景や枠組みに意識を向けることが要求されます。たとえば「日本の近代化」というフレーズはよく使われますが、ここには「ヨーロッパが歴史の流れの先頭にある」という前提が含まれています。こうした当たり前を疑う視点は、歴史を研究する時だけではなく、現代の諸問題に対しても必要になると思います。

私は歴史学を学んでから、日常の様々な事柄の背景を考えるようになり、より多くの物事に興味を持てるようになりました。また、研究したい内容が定まってくると、もっと研究したいと思うようになり、大学院に進むことを選びました。

人文学類では、学問を基礎からしっかり学ぶことができ、その上で自分の好きなテーマを扱うことができます。そのため、進路関係なく熱心に研究に取り組む人が多いです。自分の好きなことを選べる上に、きちんと学術的に扱える教育を受けられるという環境は、大学の4年間で有意義なものにしてくれると思います。

# 人文学類に関するQ&A

## Q 希望通りの主専攻・コースに入れますか？

**A** 入れます。3年次に進むときに正式な主専攻と専攻コースの決定を行いますが、人数制限などはまったくありませんので、当該専攻コースで定められている専門基礎科目(11単位)の履修が済んでいれば、希望通りの主専攻および専攻コースに入ることができます。

## Q 主専攻・コースの途中変更は可能ですか？

**A** 可能です。やはり、専門基礎科目の履修が条件になりますが、希望する場合は十分に可能です。例えば、史学主専攻を希望していた学生が、ロシア語の授業を受けているうちに、ロシア語を本格的に勉強したくなり、言語学主専攻に変更した、などの例がありました。

## Q 取得可能な資格について教えてください。

**A** 所定の教職科目を履修すると、中学校及び高等学校教諭一種の教育職員免許状取得のための資格を得ることができます。人文学類で取得できる教員免許状の教科は、国語、社会(高校は地理歴史、公民)、英語です。  
また、「博物館学」等の単位を修得すれば、学芸員の資格を得ることができます。

## Q 語学教育の内容について教えてください。

**A** 1～2年次にグローバルコミュニケーション教育センター(CEGLOC)で開講されている外国語を学びます。人文学類生は英語とそれ以外の外国語を1つ履修します。  
英語は1年次に4単位履修します。CEGLOCの英語は大学の学問に必要な英語の言語技能を磨き、英語を通して思考力及び異文化に対する理解や教養を深めるもので、将来的に英語論文を書き、英語でプレゼンテーションを行う技能を身につけることを目標としています。  
また、英語以外の外国語をドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、朝鮮語から選択し、2年生までに4単位を履修します。

筑波大学では、共通科目の外国語として様々な言語が学べる環境が整っていますので、未知の外国語の学習にも積極的に取り組み、多様な言語・文化に触れ、視野を広めてください。  
また、CEGLOCのメディアライブラリーには、たくさんの語学視聴覚教材や、外国語学習に適した映画やドラマ等のDVDが備えられていて、自由に利用することができます。自分のペースで楽しみながら学習し、どんどん語学力を伸ばすことが可能です。  
人文学類で専門的に学ぶことのできる言語としては、日本語、中国語、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、満洲語、サンスクリット語、ヘブル語、アッカド語などがあり、他大学ではなかなか学ぶチャンスのない言語も含まれています。人文学類では、様々な言語について深く学ぶことを通して人間の本质に迫る知的体験を得ることができます。

## Q 文系は就職が不利ですか？

**A** 一概にそうは言えないと思います。最近の就職先については本冊子の20ページをご覧ください。

## Q 留学制度はありますか？

**A** あります。詳しくは本冊子の4ページをご覧ください。  
その他のQ&Aは下記のウェブページで読むことができます。  
<http://www.jinbun.tsukuba.ac.jp/faq/index.html>



留学先の例(ハイデルベルク大学)

# 入試情報

## 入学定員

1学年120名(留学生を除く)

## 入学者選抜方針(アドミッションポリシー)

教育目標	「人間とは何か」という問いを根底におき、人間存在とその諸活動の所産としての文化全般について主体的に考察しうるとともに、グローバル化が進展する世界における諸問題にも積極的に関与し発言しうる、真に教養のある人材を養成すること。	
求める人材	人文系の学問に必要な論理的な思考力と表現力を十分にもつと同時に、自律的な学習と考察を通して問題を自ら発見し、解決していく能力を有する人材。	
入学までに学んでおいて欲しいこと	人文系の学問の基礎となる言語や社会に関する学科について十分な能力を習得し、希望する専攻分野に関連する他の学科についても基礎的な知識を有していることが望ましい。	
入学者選抜方針	個別学力検査(前期)	入学後の学習に必要な基礎学力と思考力を十分に持ち、人文系の学問に取り組むことのできる人材を選抜します。
	個別学力検査(後期)	論理的な思考力と表現力をもつと同時に、旺盛な知識欲と探求心を有し、人文系の学問への適応性を示す人材を選抜します。
	推薦入試	高等学校における学習の基礎をしっかりと身につけた志願者の中から、個性豊かな課題意識と向上心を持ち、人文系の学問への適応性を示す人材を選抜します。
	AC入試	人文系の学問に関わる専門的知識を主体的に吸収し、自己の判断力を磨いていく能力と創造的な問題解決能力を有する人材を選抜します。
国際バカロレア特別入試	国際バカロレア資格を取得した者を対象として、主体的に学ぶための知識や思考力、明確な目標をもって学ぶ意欲、また、語学力を含めたコミュニケーション能力などを重視して入学者を選抜します。	

## 入試スケジュール

- 10月：AC入試(アドミッションセンター入試)・国際バカロレア特別入試
  - 11月：推薦入試
  - 2月：個別学力検査(前期)
  - 3月：個別学力検査(後期)
- このほかに、以下の入試があります。
- 私費外国人留学生入試(日本国籍を有しない者が対象/試験時期2月/若干名)

## 本学のアドミッションセンター窓口(本部棟2階)で入試関連資料が入手できます。

受付時間：9:00～12:00、13:15～17:00(土曜、日曜、祝祭日、休業日を除く平日)  
〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学アドミッションセンター  
電話：029-853-7385, 7386 FAX：029-853-7392  
メール：ac-img@ml.cc.tsukuba.ac.jp

## 人文学類ウェブサイト(<http://www.jinbun.tsukuba.ac.jp/>)もぜひご覧ください。

人文学類に関するニュース、授業のシラバス、授業紹介、学生インタビュー、よくあるご質問など、本冊子にはない情報をご覧ください。